

# となりのミコトツキー

出雲市はトキの放鳥候補地です!

第65回

## 出雲市は「トキ」の令和9年度放鳥をめざします!

トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりを着実に進めていくため、行動計画となる『出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025』を策定しました。このアクションプランに基づき、令和9年度(2027)のトキの放鳥に向けて、機運醸成、餌場環境の整備、地域活性化などに取り組みます。



## 祝トキ一般公開施設 入場者10万人達成!

4月20日に出雲市トキ一般公開施設の入場者数が10万人を突破しました。この施設は、関西以西で唯一トキを見ることができるとして、令和元年度(2019)にオープンしました。一般客のほか、地元園児や小学生の遠足、学習の場として毎年多くの方が来場されています。

記念すべき10万人目の来場者となった田辺 千恵子さんは、「声をかけられて驚いたが、10万人目の来場者になれてとても嬉しい。」と笑顔で話されました。



## トキが繁殖期を迎えています

出雲市トキ分散飼育センターで飼育しているトキが、繁殖期を迎えています。今年も3組のペアが繁殖に取り組んでおり、4月30日現在、3羽のヒナが誕生しました。出雲で生まれたトキは、無事に成長すれば、佐渡へ移送し放鳥されます。これまで54羽の出雲生まれのトキが、佐渡の大空へ飛び立ちました。

応援よろしくお願いします!



おたずね/政策企画課 プロジェクト推進室 ☎21-6079



山陰  
まんなか  
共和国

中海・宍道湖・大山圏域市長会

## 中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市（出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市）で構成し、圏域が一体となってさまざまな事業を展開しています。

### 山陰まんなか未来創造塾を開催しました

圏域の未来を担う若い世代の人材育成を目的とした「山陰まんなか未来創造塾」が12月から2月にかけて全3回で開催され、圏域の民間事業者および行政の若手・中堅職員を中心に延べ106名が参加しました。

第1回は、出雲市などで「住みたくなる街づくり」をテーマに、食と宿を切り口に地方創生に取り組んでいる株式会社バルニバービの佐藤裕久氏を講師に迎え、「地域資源を活かした地方経済の活性化」と題した講義の後、参加者でグループワークと交流会を行いました。

第2回・第3回は、地域の特色があり先進的な取組を行う企業の視察を行い、出雲市の一畑電車株式会社(第2回)、境港市の三光株式会社(第3回)の企業視察を行いました。



おたずね/政策企画課 ☎21-6612 FAX21-6752

# 東京圏の大学生向け 島根就職支援事業 ～交通費支援～

東京圏の大学に在籍し、卒業後に県内企業に就職して本市に移住する大学生の方を対象として、就職活動【注1】に要した交通費を支援します。

**就職決定**

令和6年10月以降の就職内定

+

東京圏【注2】から

**出雲市に移住予定**



申請

就職活動に要した  
**交通費支援**

【注1】就職活動：令和6年6月以降の採用面接

【注2】東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県（条件不利地域は対象外。詳しくは下記までおたずねください。）

**1. 支援金の額** 内定企業の就職活動に要した交通費の2分の1（1回限り）

**2. 支給対象者** (1)～(3)の要件に全て該当する方

(1) 移住元の要件（全て該当）

- ① 大学の卒業年度において、東京都内に本部がある東京圏内のキャンパスに在学（原則4年以上）し、卒業する見込みであること。
- ② 大学の卒業年度において、東京圏内に継続して在住していること。

(2) 移住先の要件（全て該当）

- ① 島根県に所在する企業に就職することが内定していること。
- ② 卒業後に上記内定企業に就職し、出雲市に移住する意思を有していること。

(3) その他の要件（全て該当）

- ① 勤務地が島根県内に所在すること。
- ② 就業先が官公庁等ではないこと。

詳しくは、右記の二次元コードからホームページをご覧ください。下記までおたずねください。



おたずね／縁結び定住課 ☎21-6629 メール teijyu@city.izumo.shimane.jp

OH!

## 地産地消コーナー まいがな出雲!

Vol.56 食卓に「牛乳」を!



地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい!地元食材や生産者に親しみをもってもらい、地域への愛着を深めてもらいたい!との思いで、いろいろな情報をお届けします。

今月の担当 農業振興課 ☎21-6557



佐田町で酪農を営んでおられる和田さんにお話をうかがいました。

～酪農家 和田 雅樹 さん～

### ●和田さんの仕事

8年前、家業を引き継ぐため佐田町に帰ってきました。酪農の仕事は朝5時半から始まります。牛舎に立ち、搾乳・えさやり・掃除など365日、牛たちのお世話をしています。自分の仕事とプラスして他の酪農家さんの作業を代行する「酪農ヘルパー」としても活動しています。この活動は、他の酪農家さんの技術を実際に見て体験できるので、自分の仕事へも還元できています。

### 6月1日は「世界牛乳の日(World Milk Day)」です

牛乳への関心を高め、酪農の仕事を多くの方に知ってもらうことを目的に、6月1日は「世界牛乳の日」と定められており、日本でも6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と定めています。

出雲の酪農家の皆さんが愛情をたっぷり注いだ牛乳を、ぜひご賞味ください!

### ●和田さんが生産されている牛乳の魅力

自然に囲まれて育った牛たちからとれる牛乳は、雑味が少なく、飲みやすいのが魅力です。

### ●皆さんへメッセージ

皆さんの食卓へ安心安全に届けるために、衛生管理には特に気を付けています。生き物を相手にするので、思いどおりにいかないこともあり、朝も早く大変ですが、給食で飲んでくれる子どもたちの笑顔や、スーパーで皆さんが地元の牛乳を手にとっていただいたときの喜びがやりがいになっています。

大切に育てて作った牛乳をおいしく飲んでいただきたいです!